（書式２－２－２）

親子関係不存在確認の調停申立書

家 事 調 停 申 立 書

平成○○年○○月○○日

○○家庭裁判所　御中

○○市○○町○○丁目○○番○○号
ＴＥＬ　○○－○○○○－○○○○
ＦＡＸ　○○－○○○○－○○○○
申立人　○　○　○　○　印
申立人　○　○　○　○　印

親子関係不存在調停申立事件

１	当事者の表示	別紙のとおり
２	申立の趣旨・実情	別紙のとおり

貼用印紙額	金○○円
予納郵便切手	金○○円

当 事 者 の 表 示

本　　籍　　〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

住　　所　　〒〇〇〇－〇〇〇〇
〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

申 立 人　　〇〇〇〇

生年月日　　昭和〇〇年〇〇月〇〇日生

本　　籍　　〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

住　　所　　〒〇〇〇－〇〇〇〇
〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

申 立 人　　〇〇〇〇

生年月日　　昭和〇〇年〇〇月〇〇日生

本　　籍　　〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

住　　所　　〒〇〇〇－〇〇〇〇
〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

相 手 方　　〇〇〇〇

生年月日　　昭和〇〇年〇〇月〇〇日生

申 立 の 趣 旨

申立人らと相手方との間には、親子関係が存在しないことを確認する。

との調停を求めます。

申 立 の 実 情

1　申立人らは、昭和〇〇年〇〇月〇〇日に婚姻届出をした夫婦です。両者の間には、戸籍上、長男・〇〇〇〇（昭和〇〇年〇〇月〇〇日生）及び相手方二男・〇〇〇〇（平成〇〇年〇〇月〇〇日生）（高校〇年生）の子供が生まれた旨の記載がなされています。

2　相手方二男・〇〇〇〇につきましては、事実は、申立人〇〇〇〇（妻）の妹が、出産した子供です。相手方の実父は不明ですが、相手方の母が、嫡出でない届出をすることは、相手方に不憫だと考えて申立人らに相談をしてきましたので、申立人らは、相手方の将来を考え、二男としての届出をしました。

3　相手方は、出生以来ずっと実母である申立人〇〇〇〇（妻）の妹と一緒に生活をしていて、相手方本人が、事実に沿った戸籍の訂正を了解しています。

4　よって、事実に合致させるため、申立人らと相手方との親子関係不在の確認を求めて、本調停の申立に及ぶ次第です。

添　付　書　類

戸籍謄本　　２通　（申立人分・申立人の妹分）

以上

解説

（申立の趣旨）

夫婦間の子供でないことの確認を求める申立です。

（申立の実情）

1　戸籍にのっている夫婦と子供のことを説明して下さい。

2　申立人夫婦は、何故、妹の産んだ子供を自分たち夫婦の子供として届出したかという事情を説明して下さい（親子関係の存在しない事情）。